

鉄道一般

車両

施設

電気

運転・輸送

防災

環境

人間科学

浮上式鉄道

# 国際鉄道連合(UIC)の最近の活動

鉄道総研は、1997年より国際鉄道連合(UIC) (☞参照)に継続的に職員を派遣し、UICの活動に協力してまいりました。ここでは、UIC 出向中に筆者が人材の採用育成関係の活動に携わった経験をもとに、UICの概要およびその活動を紹介します。



明星 秀一  
Shuichi Myojo  
国際業務部  
国際  
主査

## UICの概要

UICは鉄道による円滑な国際輸送を目的に1922年に設立された、世界各国の鉄道事業者からなる非営利組織です。設立当時は日本を含む29カ国の国営鉄道や中長距離鉄道51事業者が加盟し、2016年3月現在は195事業者が加盟しています<sup>1)</sup>。

UICは、①世界レベルでの国際的な鉄道の協力を可能にすること、②世界レベルでの鉄道輸送の利益を代表し推進すること、③鉄道輸送の発展のために国連などの他の国際組織との間で相乗効果を高めることを目的に掲げ、その活動を進めています<sup>2)</sup>。

## UIC 総会と理事会

UICの最高意思決定機関であるUIC総会は、UICの活動方針、他の組織との合意、会員の入会、プロジェクトおよびその予算、UIC予算およびUIC地域グループの予算、会費、UIC会長および副会長の選任、各作業部会の会長の選任などの決定承認を行います。総会は年2回開催され、出席した会員の投票により各議案の承認または否決が決定されます。

UIC 総会の準備および議案の提出を

行うのが、各地域および各準地域から選出された理事により構成されるUIC理事会です(図1)。

## UIC 地域総会

総会、理事会がグローバルレベルでの意思決定機関であるのに対し、地域総会はアフリカ、アジア太平洋、欧州、中東、北米、中南米の6つの地域それぞれの活動に関する意思決定機関です。地域総会は各地域の活動方針、地域で取り組む課題、地域独自の予算、地域のプロジェクト、UIC理事会の理事候補者などを決定しますが、予算案などの重要な案件はさらにUIC総会の承認を得る必要があります。

## 作業部会

UICの活動の中心は、フォーラム、プラットフォームと呼ばれる会員主導の作業部会で行われています(図2)。

### ☞ 国際鉄道連合 (UIC)

正式名称はフランス語で Union Internationale des Chemins de Fer で、英語では International Union of Railways、日本語では国際鉄道連合と訳されます。

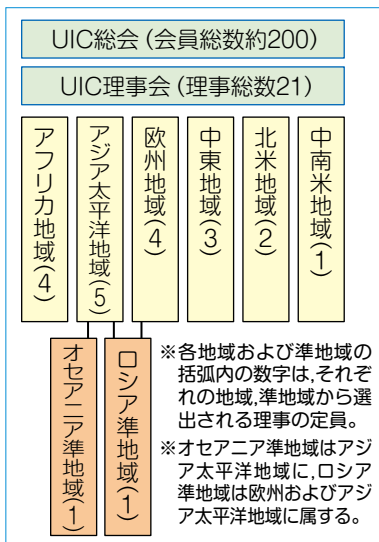


図1 UICにおける意思決定機関

※各地域および準地域の括弧内の数字は、それぞれの地域、準地域から選出される理事の定員。  
 ※オセアニア準地域はアジア太平洋地域に、ロシア準地域は欧州およびアジア太平洋地域に属する。

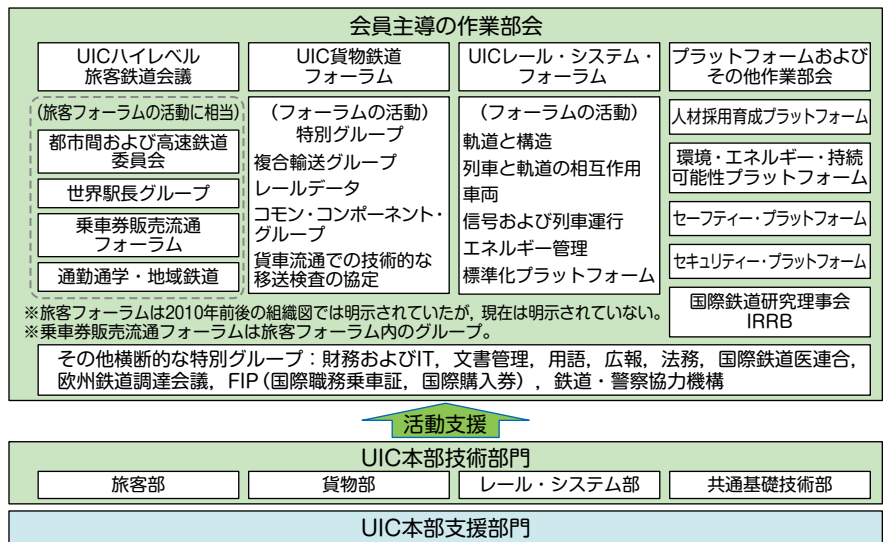


図2 現在の作業部会（文献3をもとに作成）

フォーラムは旅客、貨物、その他の個別分野の課題の調査研究を縦断的に、プラットフォームは人材採用育成、環境・エネルギー・持続可能性、セーフティ、セキュリティ、研究などの特定の課題の調査研究を分野横断的に行うという位置づけです。フォーラムやプラットフォームの調査研究プロジェクトを通じて会員共有の技術標準、調査報告書、戦略的な提言などが取りまとめられています。

なお、2016年3月の時点で55のプロジェクトがグローバルレベルで進められています<sup>4)</sup>。

### 鉄道セクターにおける採用育成に関する支援活動

鉄道セクターにおいて、優れた人材を確保することは、社会情勢の急速な変化に対応し、鉄道の競争力を維持向上するために重要です。UICでは、人材の採用育成に関する支援活動を行っており、会員の採用担当者や人材育成担当者が主に参加しています。

グローバルレベルでは人材採用育成プラットフォームがあり、全体会議が概ね年に2回開催され、参加者間での

情報交換や人材の採用育成に関する調査が行われています。2015年9月にオスロで開催された会議では、指導者の養成、ERTMS/ETCS（参照）の人材育成、シミュレーター訓練、WCRT（World Congress on Rail Training）などについて議論され、各トピックの課題の特定やワーキンググループの立ち上げ、プロジェクトの進捗報告などが行われました。

なお、WCRTは2011年から2年毎に開催されている研修関係の国際会議で、人材育成戦略、教育訓練手法・技術、顧客サービスの教育訓練、安全教育など、人材育成に関する幅広い専門家が一堂に会します。2015年4月にリスボンで開催された第3回には少人数ながら日本からの参加者もありました。第4回WCRTは2017年4月にポツダムで開催される予定です。

地域レベルでは、採用育成関係者のネットワークが欧州、中東、アジア太平洋地域に設けられ、地域独自のプロジェクトの実施および関係者の情報共有を図っています。アジア太平洋地域ではAPNRTC（Asia-Pacific Network

of Rail Training Centres）の名称で毎年秋に会議が開催され、参加者が互いの情報交換を図るとともに、IRaTCA（参照）がUICアジア太平洋地域の活動として毎年開催している約1週間の講習会（UIC会員の受講は無料）のテーマを決定しています。

講習会についてはUIC本部でも若手管理者を対象とした歴史ある講習会のSIAFI（Interactive Session on International Rail Businesses）を始めさまざまなコースが開催されており、知識の獲得のみならず、参加者同士の人脈構築にも一役買っています。

### おわりに

ここではUICの概要とその活動の一例として採用育成の支援に関する最近の話題を紹介しました。UICの活動を理解するの一助となれば幸いです。RRR

### 文献

- 1) UIC : Vademecum (List of UIC members) (<http://vademecum.uic.org/en/>)
- 2) UIC : Statutes of the UIC 第22版, 2009
- 3) UIC : UIC Organigramme ([http://www.uic.org/IMG/pdf/schema\\_organisation\\_publicable\\_2015.pdf](http://www.uic.org/IMG/pdf/schema_organisation_publicable_2015.pdf))
- 4) UIC : UIC Projects (<http://uic.org/uic-projects>)

#### ERTMS/ETCS

欧州連合が中心となり開発した欧州標準の輸送管理・列車制御システムです。

#### IRaTCA

正式名称はInternational Rail Training Centre for UIC Asiaで、2008年に韓国鉄道公社に設置された研修機関です。